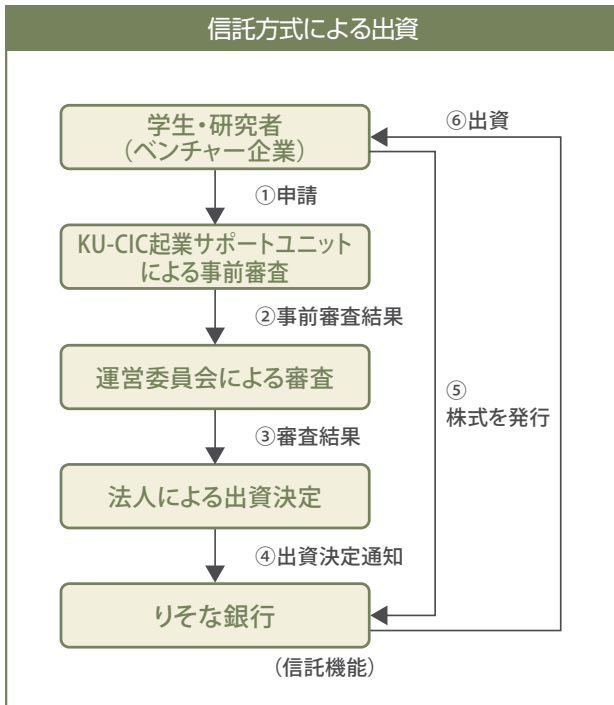


■社会貢献・連携事業

○関西大学独自の起業資金支援制度を設立

## りそな銀行と提携し、学生の起業資金を援助する



## Venture Support

関西大学は今年9月、学生の起業精神の醸成及び研究活動の事業化推進を目的に、ベンチャー企業の支援スキームに起業時の必要資金などの資金支援を行う「関西大学起業資金支援制度」を設立した。

本制度は、関西大学が起業支援の取り組みとして推進している「ベンチャー育成プラットフォーム」の重要な支援の1つであり、関西大学の学生及び専任教員を対象に、起業の「シーズ段階」から「アーリー段階」のベンチャー企業に対し、信託方式で起業支援資金を提供するという独自のスタイル。産学連携協定を結びりそな銀行の協力を得て、起業資金の支援方法について検討し、新たに設置する「新事業創出支援引当特定資産」を信託方式で運用する。これにより、ベンチャーキャピタルを置くことに比べ、資金管理に要する経費を大幅に軽減することも可能となった。

今後は、年2回程度、新たな起業モデルを発掘すべく、ビジネスプランコンテストなどを開催し、持続的なプラットフォームの実装を具現化していく。

○関西大学協賛の「大阪マラソン2018」開催

## 今年も関大生約700人が大活躍

11月25日、今年で8回目となる「大阪マラソン2018」(大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会主催)が開催された。沿道には130万人もの人々が詰めかけ、約32,000人のランナーに熱いエールを送った。

関西大学は第1回大会からオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力し、地元「大阪」を盛り上げてきた。今大会も、ランナー40人をはじめ、給水、チャリティ募金、語学対応、清掃、力持ちなど、多くの学生と教職員がボランティアとして参加。沿道では「ランナー盛り上げ隊！」として、応援団、JAZZ研究会、ダブルダッチサークル「Mix Package」、フラダンスサークル「coco girl」、カイザーズ・キッズチアなどが熱く楽しい応援パフォーマンスを繰り広げ、大会に彩りを添えた。

また、23日、24日にはインテックス大阪で「大阪マラソンEXPO 2018」が開催され、「地域・産学連携」をテーマに関西大学ブースを出展。人間健康学部の河端隆志教授と小田伸午教授のゼミが「ランニングフォームクリニック」を開催し、人間の構造的特徴に基づいた理想的な走行フォームなどについて解説・指導した。他にも、社会学部の黒田勇教授のゼミが、大阪天満宮とハタ鉱泉株式会社と本学による聖産学連携商品「ご当地梅サイダー」[UME・TEMMA]の試飲・販売会を行うなど、日頃の研究成果を披露した。



みんなでかける虹。 OSAKA 2018 MARATHON

1 沿道でエールを送る応援団 2 給水ボランティア 3 語学対応ボランティア  
4 チャリティ募金ボランティア 5 ランニングフォームクリニック 6 UME・TEMMA販売会

○関西大学・明治大学 TV番組公開シンポジウム

## 「留学生に未来を託して～NEOリーダー育成へ挑む大学～」



10月22日、関西大学と明治大学は、「留学」をテーマにした公開シンポジウム「留学生に未来を託して～NEOリーダー育成へ挑む大学～」を明治大学駿河台キャンパスにて開催した。

関西大学と明治大学は、2017年9月、相互の教育・研究の一層の進展ならびに産学連携や地域社会への貢献活動、国際学術交流活動等の推進を通じ、地域・国際社会の発展に寄与することに合意し、法政大学を加えた3大学間で連携協力協定を締結した。本イベントはその活動の一環で、留学に力を入れる両大学が、日本人の海外留学促進及び海外からの受入れ留学生の増加に資するものとなることを目的とする。

当日は、文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」プロジェクトディレクターの船橋力氏をコーディネーターに迎え、両大学の学長が海外留学を目指す学生を増やすための自校のさまざまな取り組みを紹介。グローバル人材育成に向けて必要なことを提唱した。その他、タレントの関根麻里氏が豊富な海外・留学経験について語り、「これから日本が海外を目指す留学生を増やすために必要なもの」、「国内外の企業から求められる国際人の育成に必要なもの」について、学生の意見を交えながらの熱い議論も展開された。

なお、本シンポジウムは会場と関西大学とをライブ中継で双方向に接続して行われ、その模様は2019年3月(予定)にNHK(Eテレ)「TVシンポジウム」で放映される。

○第38回「地方の時代」映像祭2018を開催

## 「地域・地方だからこそ伝えられること」を映像で発信



関西大学、吹田市、日本放送協会、日本民間放送連盟、日本ケーブルテレビ連盟が共同主催する第38回「地方の時代」映像祭2018が、11月10日～16日、千里山キャンパス及び梅田キャンパスにて開催された。

今年は293作品の応募があり、34作品が各部門賞を受賞。10日に千里山キャンパスで贈賞式、記念講演、グランプリ作品上映、シンポジウムが行われ、11日～16日にかけてワークショップ、受賞作品上映会、参加作品上映会などが開かれた。

グランプリ受賞作品は、沖縄テレビが制作した沖縄の現状を追ったドキュメンタリー『菜の花の沖縄日記』が選ばれた。関西大学からは「市民・学生・自治体部門」で入賞作品として選ばれた総合情報学部・岡田朋之教授ゼミ『「妹と私」みき演劇セミナーでの5ヶ月』が優秀賞、社会学部・里見繁教授ゼミ『2つの性に縛られて Xを選びたい私たち』が奨励賞、黒田勇教授ゼミ『ひろばを追え!!～歴史から消えたゾウ～』が奨励賞を受賞した。